

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	325	△13.2	△17	—	△20	—	△33	—
26年3月期第3四半期	375	△21.7	△0	—	4	△84.3	△0	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △33百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△12.93	—
26年3月期第3四半期	△0.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	672	310	46.1
26年3月期	706	344	48.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 310百万円 26年3月期 344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	474	△2.1	12	—	4	48.1	3	—	1.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 株式会社e-エントリー、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	2,661,720 株	26年3月期	2,661,720 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	42,678 株	26年3月期	42,018 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	2,619,404 株	26年3月期3Q	2,619,882 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(開示の省略)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率の引き上げ及び円安の進行により減速しており個人消費が弱くなっているものの、製造業を中心に企業収益は持ち直しの兆しも見えており、今後はごく緩やかな回復が見込まれております。

当社グループを取り巻く環境に関しては、携帯電話の人口普及率が100%を超えており、大幅な契約数増加が見込めないなか、既存携帯電話からスマートフォンへの移行も急速に進んでおります。既存携帯端末を前提とした携帯通信キャリア主導のコンテンツ販売の市場は縮小傾向が続き、スマートフォン向けのソーシャルゲーム分野がコンテンツ市場の大きな部分を占めてきております。また、スマートフォン向けコンテンツが利用できるタブレットも普及してきており、企業への導入が進んでおります。

このような状況下、当社グループは、主力事業であるリモートメール事業については、連結子会社である株式会社FunFusionも含めて拡販を進めるとともに、ファイル共有サービス「リモートカタログ」などの法人市場向けの新サービスの投入を進めております。ショートメッセージ(SMS)を利用した通知サービスの拡販など、主に企業向け販売に注力しており、また、第2四半期に子会社とした株式会社e-エントリーのデータエントリー事業との相乗効果を模索しております。

当社グループの各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①リモートメール事業

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、当事業の強化に注力し「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長しているスマートフォン市場での拡販に努めました。

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、契約者数減少による売上の減少を補うために、顧客単価の向上をはかる一方で、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手の良さをさらに向上させる改善を継続して実施しております。既存携帯端末に加えスマートフォンを対象に、携帯電話販売店舗における販促活動を行っております。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、利用者数の増加と解約防止を目的に、顧客の要望へのきめ細かい対応を続けており、既存顧客からの紹介や販売店舗網の活用、新規顧客へのアプローチ方法の改善などにより、契約社数、利用者数を少しずつ伸ばしております。法人向けには、ファイル共有サービス「リモートカタログ」もリリースしております。

また、光通信グループの携帯販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も売上に寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は301百万円(前年同期比16.5%減)、営業利益は89百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

#### ②SMS事業

SMS事業は、ショートメッセージを利用した販促ツールとして開発した「らくらくナンバー」サービスを中心とした事業であります。当第3四半期連結累計期間においては、イベントへの参加などによる認知度の向上、既存顧客からの紹介や事例紹介などにより新規顧客の獲得に努めました。

上記の結果、SMS事業の売上高は6百万円(前年同期比153.4%増)、営業損失13百万円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。

#### ③その他

その他の売上は、主に、紙媒体等に記録された情報をコンピュータ入力によりデータ化するデータエントリー事業や、過去に発売したスマートフォン向けアプリ・家庭用ゲーム機向けパッケージソフトのリピート受注販売によるものであり、売上高は18百万円(前年同期比54.6%増)、営業損失11百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

※前第3四半期連結累計期間では全セグメントに占める「リモートメール事業」の割合が高かったためセグメント情報の記載を省略しておりましたが、当第3四半期連結累計期間では、「SMS事業」の金額的重要性が高まったため「リモートメール事業」「SMS事業」の2つの事業を報告セグメントとしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高325百万円（前年同期比13.2%減）、営業損失17百万円（前年同期営業損失0百万円）、経常損失20百万円（前年同期経常利益4百万円）、四半期純損失33百万円（前年同期四半期純損失0百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産は672百万円となり、前連結会計年度末に比べ、34百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少26百万円等であります。

負債の部は362百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しております。主な要因は、長期借入金の減少19百万円、短期借入金の増加12百万円等であります。

純資産は310百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の減少となっております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月19日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年8月20日付「株式会社e-エントリーの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」でお知らせしました通り、平成26年9月1日付で株式会社e-エントリーの全株式を取得し子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	500,434	473,592
売掛金	91,813	92,598
繰延税金資産	205	205
短期貸付金	120	3,120
その他	14,715	11,378
貸倒引当金	△999	△1,641
流動資産合計	606,289	579,253
固定資産		
有形固定資産	33,783	26,851
無形固定資産		
ソフトウェア	9,127	3,234
のれん	-	5,154
その他	-	244
無形固定資産合計	9,127	8,633
投資その他の資産		
投資有価証券	0	5,397
長期貸付金	590	500
長期未収入金	1,117,455	1,106,408
破産更生債権等	218,500	218,685
その他	45,545	44,662
貸倒引当金	△1,324,306	△1,317,838
投資その他の資産合計	57,784	57,816
固定資産合計	100,695	93,301
資産合計	706,984	672,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,680	9,742
短期借入金	145,420	158,080
未払金	34,051	29,518
未払法人税等	4,082	2,632
その他	2,772	10,472
流動負債合計	194,008	210,445
固定負債		
長期借入金	157,280	137,721
退職給付に係る負債	11,671	14,199
固定負債合計	168,951	151,920
負債合計	362,959	362,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,605	2,242,605
資本剰余金	636,561	636,561
利益剰余金	△2,361,616	△2,395,478
自己株式	△173,525	△173,658
株主資本合計	344,024	310,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	159
その他の包括利益累計額合計	-	159
純資産合計	344,024	310,188
負債純資産合計	706,984	672,555

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	375,119	325,707
売上原価	75,819	76,855
売上総利益	299,299	248,852
販売費及び一般管理費	299,523	266,542
営業損失(△)	△224	△17,690
営業外収益		
受取利息	2,132	347
貸倒引当金戻入額	10,416	4,199
その他	2,056	329
営業外収益合計	14,605	4,875
営業外費用		
支払利息	7,473	5,495
貸倒引当金繰入額	-	185
その他	2,611	1,514
営業外費用合計	10,085	7,195
経常利益又は経常損失(△)	4,295	△20,009
特別利益		
偶発損失引当金戻入額	9,000	-
特別利益合計	9,000	-
特別損失		
固定資産除却損	305	-
減損損失	7,605	4,043
訴訟関連損失	-	7,500
その他	-	1,300
特別損失合計	7,910	12,843
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	5,384	△32,853
法人税、住民税及び事業税	1,006	1,008
法人税等調整額	4,573	-
法人税等合計	5,579	1,008
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195	△33,861
少数株主利益	-	-
四半期純損失(△)	△195	△33,861

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195	△33,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	159
四半期包括利益	△195	△33,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195	△33,702
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。